

JA全農ウィークリー

J A Z E N - N O H W E E K L Y

Web版
JA全農ウィークリーは
こちらから



<https://www.zennoh-weekly.jp/>



2面

在米大使館旧公邸で
和牛プレゼンテーション
(畜産総合対策部)

3面

営農・技術センターに
研究温室を新築
(耕種総合対策部)

配送先変更(住所・宛名)、
配布部数変更はこちら





第57回全農乾椎茸品評会審査会を開催

国産乾椎茸の継続生産・品質向上に向けて

麦類農産部



多くの出品の中から受賞者を決定する審査会



農水大臣賞を受賞し名人位に就任した桑名氏の乾椎茸

57回全農乾椎茸品評会 農林水産大臣賞、林野庁長官賞、団体賞一覧(敬称略)

規格	農林水産大臣賞		林野庁長官賞		
大葉厚肉	-		-		-
大葉中肉	-		大分県 加藤 誠	-	
中葉厚肉	岩手県 小原 和也	静岡県 桑名 二朗	岩手県 中居 昭彦	岩手県 平田 聡一郎	愛媛県 成高 王洋
中葉中肉	静岡県 桑名 二朗	静岡県 桑名 二朗	静岡県 野中 一男	-	
花どんこ	静岡県 小柳出 勝	岩手県 高崎 貞信	-		
上どんこ	三重県 山崎 隆	岩手県 涌田 幸栄	鳥取県 長谷川 和郎	-	

団体優勝	団体準優勝
全農岩手県本部	静岡経済連

全農は、品評会の開催を通して生産者の継続生産や高品質生産に貢献していくとともに、原木乾椎茸のおいしさや栄養価を多くの人に発信し、消費拡大にも取り組んでいます。

今年の原木乾椎茸は、発生に必要な時期に降雨はあったものの、気温の変動が大きく、栽培管理が難しい年となりました。春子作柄は西日本地区の不作の影響もあり、全国で前年比83%の1250トと推定されています。そのような状況の中、全国から多くの出品があります。名人位に就任しました。

厳正な審査の結果、農林水産大臣賞4点をはじめ、6部門32点および奨励賞2点の入賞を決定。団体優勝は岩手県本部、準優勝は静岡経済連となりました。静岡県の桑名二朗氏は通算10回目となる農林水産大臣賞を受賞し、名人位に就任しました。

全農は第57回全農乾椎茸品評会審査会を(株)三幸第二工場(埼玉県上尾市)で開催し、全国14県437点の出品の中から各賞の受賞者を決定しました。



在米大使館旧公邸で和牛プレゼンテーション

米国東海岸での認知度向上に向けて「食と農を語る夕べ」

畜産総合対策部



熱心にプレゼンを聞く参加者

今後海外においても、和牛の認知度向上、輸出拡大に取り組まれます。

「食と農を語る夕べ」は、在米日本国大使館(独)農畜産業振興機構、全中の共催で、米国政府関係者や各国大使館関係者らに対して、日本の農畜産物・食文化などの理解を深めてもらうことを目的に2000年から開催しています。今回は、来場した約300人に、すしや和牛をはじめ、メロン、日本酒、国産ウイスキーなどが振る舞われました。

全農は、同レセプションに和牛肉を提供するとともに、これまで和牛輸出で注力してきた西海岸に加え、東海岸でも日本産和牛の認知度向上を図るため、プレゼンテーションを実施。Enhance Your SEMI-SPECIAL DAY With WAGYU! (ちょっといい日に和牛を食べよう)をテーマに、和牛の特徴や魅力、幅広いレシピ・アレンジなどをPRしました。



営農・技術センターに研究温室を新築

施設園芸分野研究開発のさらなる進展を目指す

耕種総合対策部



営農・技術センターに新設された研究温室

また、関係機関と連携し、東京大学とは生育診断や収穫

野の研究・開発をより詳細に、迅速に進めます。

新しい研究温室は、施設面積1800平方メートル、軒高6.2メートル、ハイワイヤー養液栽培の研究に適した国内最先端の仕様で、温室内は六つに区切られ、同時に複数の研究ができます。

全農は6月13日、神奈川県平塚市にある営農・技術センター内に新設した研究温室のお披露目会を行いました。NTT東日本グループ・安川電機(株)・農研機構・産業技術総合研究所・東京大学・京都大学・九州大学などの関係者ら57人が出席し、完成を祝いました。



新しい温室を視察した関係者(左から全農・日比健常務、NTT東日本・渋谷直樹社長、全農・野口栄理事長、(株)NTTアグリテクノロジー・酒井大雅社長)

温室では、営農・技術センター施設園芸研究室が進める品目拡大や高温期の安定生産など、高度施設園芸分野の研究・開発をより詳細に、迅速に進めます。

予測、京都大学などとは植物が出す分子により植物の状態を診断する仕組みの開発、安川電機とは作業ロボットの開発、NTT東日本グループとは生産管理・労務管理システムの開発などを行う予定です。今後は実証施設である「ゆめファーム全農」と一体運用することによって「ゆめファーム全農パッケージ」のさらなる価値向上を図り、成果の普及展開を目指します。



EUなどに向けて「いわて牛」出荷式

関連法人(株)いわちくが東北初の輸出認定取得

岩手県本部



関係者一同で「いわて牛」の初出荷をテープカットで祝福

当日は、EUに初めて出荷される「いわて牛」の生産者となった(株)阜山畜産の阜山満正社長へ、いわちくの伊藤清孝会長が記念品を贈呈しました。阜山社長は「牛さんありがとう」という気持ちを忘れずに、今後も健康な牛を育てられるよう頑張ります。

岩手県本部の関連法人である(株)いわちくは、東北で初めてEU(欧州連合)への輸出認定を取得し、5月28日にEUなどに向けた「いわて牛」の出荷式を開催しました。認定取得により全43の国・地域へ輸出可能となったことを受け、今年度は輸出用製造量400トンを目指します。

「飼料高騰など畜産業を取り巻く環境は厳しいが、輸出事業に取り組むことで和牛の価格維持に寄与できる。新たにEUに販路を設けることで、きつうれしい」と話しました。

いわちくでは、引き続き、輸出事業を通じて「いわて牛」や県産牛肉の販路拡大と生産者の収益向上に向けて取り組んでいきます。

News!

長崎駅広場でスイートコーン即売会

JA島原雲仙産を県民にアピールし消費拡大へ

長崎県本部



即売会には多くの人々が訪れ当初の想定を上回る売り上げに

当日は、販売開始から多くの人が訪れ、当初の想定を上回る売れ行きとなりました。最終的には、1日で追加分を含めた合計1350本のスイートコーンが完売しました。

長崎県本部は5月24日、長崎駅西口広場でJA島原雲仙のスイートコーン即売会を開催し、1350本を販売しました。

長崎県は九州でも有数のスイートコーン産地です。中でも今回販売したスイートコーンを生産するJA島原雲仙管内は、県内トップの作付面積と出荷量を誇ります。しかし、主な出荷先は関西で県内流通量が少ないことから、

県民への認知度向上のための施策を模索していました。そこで、島原半島産の旬の味覚であるスイートコーンを多くの人に楽しんでもらうとともに、県民への認知度アップと消費拡大を図るため、今回初めて長崎駅で即売会を開催しました。

News!

30社5000点並べ農業機械大展示会

共同購入コンバイン県内初披露、スマート農業実演も

秋田県本部



共同購入コンバインにも多くの人々が集まった

秋田県本部とJAグループ秋田は6月19、20日の2日間、秋田県立スケート場で「第35回秋田県JA農業機械大展示会」を開催しました。

今年は、約30のメーカーが最新農業機械など約5000点を展示し、期間中は約2500人の来場者でにぎわいました。

会場には、自動操舵機能そうたの付いたトラクターや田植機、農業用ドローンなどICT（情報通信技術）を活用した各メーカーの最新機械が展示されたほか、全農が1月に共同購入第3弾として発表したコンバイン（4条刈り、50馬力クラスを県内初披露し、来場者にPRしました。

熱心に説明を聞く来場者の姿が見られ、「最新機械の情報が得られてよかった」「各メーカーの機械を比較できてよかった」という声が聞かれました。



スマート農業実演コーナーでは最新機械に試乗も

組合員との対話重視

次世代の農業をはぐくむ

群馬県にあるJAはぐくみは高崎市の西部に位置し、1997年に榛名町農協・群馬町農協・倉沢村農協・箕郷町農協の4農協が合併し設立しました。農畜産物・人・地域を育てる(はぐくむ)の意味を込めて、旧4農協の頭文字を取り「はぐ

くみ」と名付けられました。生産が盛んな農作物として梅や梨、露地ナスなどがあ

ります。特に梅は、群馬県が全国収穫量第2位を誇り、JA管内で県内収穫量の7割を占めるなど、同JAを代表する農作物の一つです。

新品種が登場 群馬印の梅

梅の生産は主に榛名・箕郷地域で行われています。同地域内に群馬の三大梅林のうち二つを有しており、両地域合わせて20万本を超える梅の木が、榛名山の丘陵を彩ります。県内で最も多く生産されている「白加賀」を筆頭に、「南高」や「織姫」「梅郷」など品種も豊富です。それぞれ特徴があり、梅酒や梅干し、ジュースなどさまざまな加工品に利用されています。

さらに、今年度から群馬生まれの新たな品種「ゆみまる」の出荷が始まりました。「ゆみまる」は「白加賀」の授粉樹に適しており、関係者からは

JAはぐくみ (群馬県)



概要	2024年2月29日現在
正組合員数	3785人
准組合員数	3443人
職員数	185人
販売品取扱高	31億3257万円
購買品取扱高	14億2078万円
貯金残高	533億352万円
長期共済保有高	1597億7412万円
主な農産物	梅、梨、桃、プラム、露地ナスなど

「ゆみまる」の普及により白加賀の生産数も増えるのではないかと期待されています。期待は追い風になり、県内の梅生産はますます盛り上がりを見せています。

露地ナス普及を推進 互いに高め合い

JAはぐくみが全地域で普及を推進している作物として露地ナスがあります。初期投資が比較的少なく、新規就農者も取り組みやすい品目として人気で、TAC(地域農業の担い手)に出向くJA担当者)を中心に収量増加に取り組んでいます。ナス栽培を通じて知り合った20、30代の生産者同士が互いに高め合いながら生産するなど、品質の向上に積極的です。その姿に感



県内で最も生産される品種「白加賀」の共同選果場



24年度から出荷が始まった「ゆみまる」



生産者(右)から相談を受けるJA職員

化されベテランの生産者らもさらに奮い立ち、地域全体によい影響を与えています。同JAでは、振興品目の拡大を目標とし、「出向く営農体制の強化」と「相談活動の充実」を自己改革の方針として実践しています。生産者と共に地域を育み、次世代につなげる農業を目指していきます。

入庫から配送までのサイロビジネス 穀物物流の合理化、コスト低減へ

全農サイロ(株)は穀物類の入庫から保管、品質管理、出庫、配送までを一元化させたサイロビジネスを構築することにより、穀物物流の合理化や、コストの低減に努めています。

【広報・調査部】



全農サイロ株式会社



サイロ外観(鹿島支店)

社名にもある「サイロ」とは、穀物などを貯蔵する巨大な倉庫のことです。全農サイロで所有する最大のサイロは、1本当たり直径7^{メートル}・高さ40^{メートル}(ビル14階相当)になり、トウモロコシ換算で約1700^{トン}貯蔵できます。

各支店で大きささまざまなサイロを所有し、最大規模を誇る鹿島支店(茨城県神栖市)には326本のサイロを有しています。

日本の穀物輸入総量の2割を荷揚げ・保管

全農サイロは、1968年に設立された神戸サイロ(株)を原点とする、トウモロコシ・大豆・

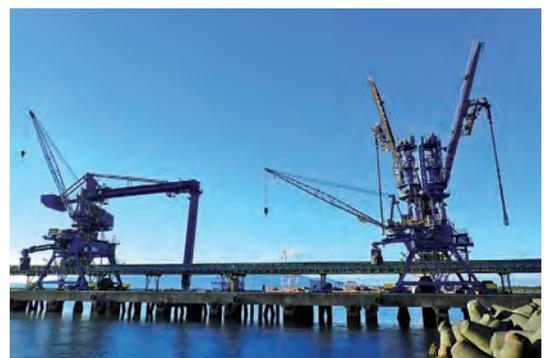


2017年に開設した倉敷支店

麦など年間約500万^{トン}(日本の穀物輸入総量2500万^{トン}の約20%)を荷揚げ・保管・出荷する物流会社です。

安定した設備の確保・供給のため全国6カ所(釧路、鹿島、新潟、東海、倉敷、志布志)の港湾に支店を所有しています。飼料原料を中心に食料油・コーンスターチ・小麦粉・ウイスキーの原料も取り扱うなど、全農グループの中で、海外から日本までの穀物サプライチェーンの主要会社として、安定的な畜産物・食品生産に貢献しています。

近年では、旧J A西日本くみあい飼料(株)(現・J A全農く



穀物類を荷揚げするアンローダー(志布志支店)

みあい飼料(株)と(株)J オイルミルズと共同で、支店を兵庫県神戸市から岡山県倉敷市の玉島ハーバーアイランドに移転し、17年に倉敷支店を開設しました。21年には、子会社の旧釧路サイロ(株)を合併し釧路支店を設置しています。

全農サイロは港湾に立地していることから、阪神淡路大震災では旧神戸支店、東日本大震災では鹿島支店が大きな被害に見舞われました。さらに、近年大型化する台風による被害も発生しています。こうした被害の経験から、緊急地震速報に連動した設備の自動停止装置や非常用電源などハード面の対応

高度な知識備えたマンパワーで 物流コーディネーターの役割も

代表取締役社長
近藤 徹也氏



当社は一つの支店の建設費用が百数十億円の巨大設備を運営しており、また建設後30~40年経過するため、維持管理に毎年数十億円の修繕・更新投資を行っています。資金だけでなく、高度な電気・機械技術の知識・経験・資格を備えたマンパワーも必要であり、全社員約200人の半分を占める技術系社員の育成が当社の最重要事項の一つです。現在は国立高等専門学校からの採用を主体としながら、入社後の資格取得支援制度も充実させています。

また全農・商社など穀物輸送船の荷主と、飼料・食品メーカーなどの出荷先とを結ぶ物流コーディネーターとしての役割も非常に重要です。円安の影響もあり穀物船の1日当たり用船料は約400万円と高騰しています。そこで、当社が綿密な調整・打ち合わせを実施し、短時間で効率的な穀物の荷揚げを行うことが全農グループの配合飼料の安定供給の源泉となっています。

今後は、社内でサイロ事業に関連するキャラクター募集を行うなど、対外アピールについても検討していきます。



社員が作成した
サイロ事業のキャラクター案



設備の運営を行う制御室(倉敷支店)

とともに、東日本大震災から13年が経過し、震災を知らない社員も増えているため、災害発生から復旧に至る貴重な経験を若い世代に伝える取り組みを行うことで、今後の災害に備えています。

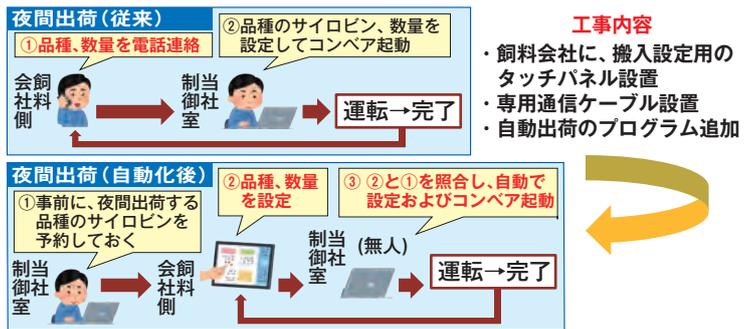
人材確保や労働時間短縮へ 積極的に省力化にも投資

人材確保も年々厳しさを増している中、採用活動の前倒し実施や、キャリア採用・※アルムナイ採用などの取り組みを開始しています。採用市場の競争激化は今後も続くことが見込まれます。

※自社を一度退職した人材を再度雇用する採用手法

※アルムナイ採用

※アルムナイ採用とは、以前当社で働いていた社員が、退職後一定期間経過後、再び当社に復帰して働くことを指します。



夜間自動・無人出庫出荷システムイメージ図

このシステムは、穀物の出荷先である飼料工場に原料受け入れ設定用タッチパネルを設置し、飼料工場のタッチパネルで入力された受け入れ設定と当社の出荷登録内容を照合することにより、夜間出荷を自動・無人で行います。

故障が発生した場合も、自動で予備ラインへ切り替えを実施します。システムの導入により、これまでの夜間勤務が不要となり、社員の労働時間短縮も実現しました。現在東海支店と倉敷支店で導入しており、今後は他支店にも展開する予定です。

他にも荷役設備の自動運転シ

システムや、設備点検・予備品管理の電子化、トラックの受け入れ予約システムなどの導入を行い、社員の労働時間を少なくしつつも、限られた社員でのスムーズな操業を目指し、取り組みを進めています。

会社の概要 (2024年4月1日現在)

- 本社所在地** 東京都千代田区神田淡路町 2-29 東お茶の水ビル 7階
- 事業内容**
 - 倉庫業
 - 港湾運送業
 - 通関業
- 設立年月日** 1968年6月
- 代表者** 代表取締役社長 近藤 徹也
- 従業員数** 194人

公式ホームページはこちら



<https://www.zsilo.co.jp>

「ガチャピン・ムック」「ミカンせいじん」とコラボ ニッポンエール×フジテレビ×イー・ロジット グミ3品を発売

全農は、(株)フジテレビジョン・(株)イー・ロジットと連携し、国産果汁を使用した「ガチャピンのシャインマスカットグミ」「ムックのさくらんぼグミ」「みかんグミ同盟」を共同開発しました。【営業開発部】

「ガチャピン・ムック」と、フジテレビで毎週放送中のアニメ「ミカンせいじん」とニッポンエールのコラボ商品です。

「ガチャピン・ムック」のグミには、それぞれ色合いで親和性のある長野県産シャインマスカットと山形県産サクランボの果汁を使用しています。「ミカンせいじん」のグミには、愛媛県産温州ミカンの果汁を使用し、今回の商品を通じて、愛媛県イメージアップキャラクター「みぎゃん」と同盟を組み、ミカンの人気キャラクター同士のコラボが実現しました。

同商品は7月20日～8月25日に開催される「お台場冒険王2024 人気者にアイ♡LAND」において販売開始予定です。



ニッポンエール
ガチャピンの
長野県産
シャインマスカットグミ



ニッポンエール
ムックの
山形県産さくらんぼグミ



ニッポンエール
愛媛県産
みかんグミ同盟

©2011 愛媛県みぎゃん604010
©GACHAMUKKU
©KS/F ©FUJI TELEVISION

みずみずしく柔らかい
夏のアスパラガスフェア

直営21店舗で 九州の主産地からお届け

全農グループ直営店舗(21店舗)で7月18日～8月4日の間、「九州産アスパラガス主産県協議会」とのコラボレーション企画「夏のアスパラガスフェア」を開催します。【フードマーケット事業部】

福岡、佐賀、長崎、熊本、大分県の5産地から出荷される旬のアスパラガスを総菜やグリーンスムージーなど素材のおいしさを生かしたさまざまなメニューで提供します。フェアで使用する「九州産アスパラガス」は、JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」でも購入いただけます。

「JAタウン」
はこちら



「実施店舗」
はこちら



九州産アスパラガスと肥前さくらポークのしょうが焼き定食1309円
(税込み、みのりカフェ季楽佐賀コムボックス店)

JA全農の産地直送通販サイト JAタウン ショップ紹介

JA全農大阪

西の平たん部から東の山麓部にかけて農地が広がる、大阪府南河内地域で生産されたブドウ「デラウェア」です。

大阪府のブドウ栽培の歴史は古く、明治時代にまでさかのぼります。現在、大阪府の「デラウェア」栽培面積は全国3位で、大阪ブドウの大部分を占める主力品種。

府内で独自の栽培技術で生産され、まとまった生産量のある農産物「なにわ特産品」にも選定されています。種がなく小粒で食べやすい「デラウェア」は、世代を問わず人気を博しています。



大阪ブドウ 南河内産デラウェア
約1.4kg …… 3400円(税込み)

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☑ shop@ja-town1.com